

平成21年度の財務4表(普通会計)を公表します

これまでの公会計制度は、その年にどのような収入があり、それをどのように使ったかといった現金の動きがわかりやすい反面、市が整備してきた資産などの情報や、行政サービス提供のために発生したコスト情報の不足といった弱点がありました。

そこで、市では、それらの弱点を補うため、総務省が公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」に基づき、総務省方式改訂モデルによる新しい財務書類を作成しました。

問 伊奈庁舎財政課 ㊟58-2111 (内線1231)

貸借対照表(バランスシート)とは?

市が住民サービスを提供するために保有している財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)でまかなってきたかを一目で分かるようにしたものです。左右がバランスしているため、バランスシートとも呼ばれます。

純資産変動計算書とは?

貸借対照表の純資産の部に計上されている各数値が、1年間でどのように変動したかを示したものです。

行政コスト計算書とは?

1年間の行政活動のうち、福祉活動やごみの収集などの資産形成に結びつかない行政サービスに係る経費と、その行政サービスの直接対価として得られた財源を対比させたものです。

資金収支計算書とは?

歳計現金(=資金)の出入りの情報を、性質の異なる3つの収支(経常的、公共資産整備、投資・財務的)に分けて示したものです。

貸借対照表(バランスシート)		単位:千円	
資産の部	金額	負債の部	金額
1 公共資産 有形固定資産など	42,358,653	1 固定負債 地方債、退職手当引当金など	14,674,991
2 投資等 投資および出資金、貸付金など	5,996,053	2 流動負債 短期借入金、未払金など	1,314,826
3 流動資産 現金預金、未収金など (うち歳計現金)	2,580,596 (819,217)	負債合計	15,989,817
資産合計	50,935,302	純資産の部	
		純資産合計	34,945,485
		負債・純資産合計	50,935,302

市民一人あたりの貸借対照表

資産 112万1千円
(うち、公共資産93万2千円)
負債 35万2千円
純資産 76万9千円

※平成23年2月1日現在人口にて算出

行政コスト計算書		単位:千円
		金額
	経常費用	13,189,327
1	人にかかるコスト 人件費、退職手当引当金繰入など	2,695,689
2	物にかかるコスト 物件費、維持補修費など	3,464,917
3	移転支出的なコスト 社会保障給付、補助金など	6,752,339
4	その他のコスト 支払利息、回収不能見込計上額など	276,382
	経常収益	274,734
1	使用料・手数料	264,066
2	分担金・負担金・寄附金	10,668
	純経常行政コスト (経常費用-経常収益)	12,914,593

資金収支計算書		単位:千円
		金額
1	経常的収支の部	3,727,685
2	公共資産整備収支の部	△558,713
3	投資・財務的収支の部	△3,087,939
	当年度歳計現金増減額	81,033
	期首歳計現金残高	738,184
	期末歳計現金残高	819,217
	(基礎的財政収支)	
	収入総額	14,314,032
	地方債発行額	△1,273,685
	財政調整基金等取崩額	△104,436
	支出総額	△14,232,999
	地方債元利償還額	1,296,397
	財政調整基金等積立額	342,483
	基礎的財政収支	341,792

純資産変動計算書		単位:千円
		金額
	期首純資産残高	35,396,331
	純経常行政コスト	△12,914,593
	一般財源	9,933,894
	補助金等受入	2,461,572
	臨時損益	8,359
	資産評価替えによる変動額	59,922
	無償受贈資産受入	0
	その他	0
	期末純資産残高	34,945,485